

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【公開番号】特開2004-304754(P2004-304754A)

【公開日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2004-042

【出願番号】特願2003-324904(P2003-324904)

【国際特許分類】

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

G 0 6 Q 30/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/56 1 0 0 Z

G 0 6 F 13/00 5 4 0 A

G 0 6 F 17/60 1 4 2

G 0 6 F 17/60 1 7 6 Z

G 0 6 F 17/60 3 0 2 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月5日(2006.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

他の通信装置から受信したIPパケットのTTL(Time To Live)を取得する取得手段と、

取得した前記TTLが、所定値以下であるか否か判定する判定手段と、

前記判定の結果が肯定的である場合に、前記他の通信装置との間でコンテンツの送信又は受信を行う通信手段と

を備えることを特徴とする通信装置。

【請求項2】

前記通信装置は、更に、

他の通信装置へ送信するIPパケットのTTLを、あらかじめ定められた所定の値に設定する設定手段を備える

ことを特徴とする請求項1記載の通信装置。

【請求項3】

前記通信装置は、更に、

前記他の通信装置と鍵情報を共有する鍵共有手段を備える

ことを特徴とする請求項1に記載の通信装置。

【請求項4】

前記通信装置は、更に、

前記鍵共有手段により前記他の通信装置と共有した前記鍵情報を用いて、前記コンテンツの暗号化処理及び暗号化された前記コンテンツの復号処理を行う暗号処理手段を備え、

前記通信手段は、前記他の通信装置との間で、暗号化された前記コンテンツの送信又は

受信を行う

ことを特徴とする請求項 3 に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記通信装置は、更に、

無効化された通信装置を識別可能な無効化情報を、ネットワークを介して取得する無効化情報取得手段と、

取得した前記無効化情報を記憶する記憶手段と

を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記通信装置は、更に、

前記取得した無効化情報と、前記記憶手段に記憶している無効化情報とを比較する比較手段と、

前記比較の結果が同一でない場合には、前記記憶手段に記憶している無効化情報を、前記取得した無効化情報に更新する更新手段と

を備えることを特徴とする請求項 5 に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記暗号処理手段が用いる暗号は、AES (Advanced Encryption Standard) であることを特徴とする請求項 4 に記載の通信装置。

【請求項 8】

送信装置から受信装置へ、コンテンツを送信するコンテンツ配信システムであって、

前記送信装置は、

他の通信装置から受信した IP パケットの TTL (Time To Live) を取得する取得手段と、

取得した前記 TTL が、所定値以下であるか否か判定する判定手段と、

前記判定の結果が肯定的である場合に、前記受信装置にコンテンツを送信する送信手段とを備え、

前記受信装置は、前記送信装置から送信される前記コンテンツを受信する

ことを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項 9】

通信装置で用いられるコンテンツ配信方法であって、

他の通信装置から受信した IP パケットの TTL (Time To Live) を取得する取得ステップと、

取得した前記 TTL が、所定値以下であるか否か判定する判定ステップと、

前記判定の結果が肯定的である場合に、前記他の通信装置との間でコンテンツの送信又は受信を行う通信ステップと

を含むことを特徴とするコンテンツ配信方法。

【請求項 10】

通信装置で用いられるコンテンツ配信プログラムであって、

他の通信装置から受信した IP パケットの TTL (Time To Live) を取得する取得ステップと、

取得した前記 TTL が、所定値以下であるか否か判定する判定ステップと、

前記判定の結果が肯定的である場合に、前記他の通信装置との間でコンテンツの送信又は受信を行う通信ステップと

を含むことを特徴とするコンテンツ配信プログラム。

【請求項 11】

通信装置で用いられるコンテンツ配信プログラムを実行する LSI であって、

前記コンテンツ配信プログラムは、

他の通信装置から受信した IP パケットの TTL (Time To Live) を取得する取得ステップと、

取得した前記 TTL が、所定値以下であるか否か判定する判定ステップと、

前記判定の結果が肯定的である場合に、前記他の通信装置との間でコンテンツの送信又は受信を行う通信ステップと
を含むことを特徴とする L S I。